

2020年11月6日

2020年度図書館総合展 フォーラム

機関リポジトリについて考えよう！

アーカイブポリシーデータベース連携と制限公開からみる将来像



制限公開実証実験の成果報告： JGSSデータダウンロードシステムの開発



大阪商業大学総合経営学部 教授・JGSS研究センター長

大阪商業大学公共学部 教授

大阪商業大学JGSS研究センター PD研究員

大阪商業大学JGSS研究センター PD研究員

岩井 紀子

穴戸 邦章

金 政芸

郭 凱鴻

Japanese General Social Surveysプロジェクト



- ▶ 1998年 9月 JGSS研究プロジェクトがスタート
- ▶ 1999年 3月 第1回予備調査実施
- ▶ 1999年 4月 文部科学省から「学術フロンティア推進拠点」に指定
- ▶ 1999年11月 第2回予備調査実施(大阪府・首都圏)
- ▶ 2000年11月 JGSS-2000実施
- ▶ 2003年11月 EASSプロジェクト準備開始
- ▶ 2003年11月 (財)日本統計協会より 統計活動奨励賞受賞
- ▶ 2004年 4月 文部科学省から「学術フロンティア推進拠点」に再指定
- ▶ 2006年10月 第1回EASS調査 EASS 2006「家族」モジュールを含むJGSS-2006実施
- ▶ 2008年 7月 JGSS研究センター発足
- ▶ 2008年 8月 文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点整備の推進事業」に採択
- ▶ 2008年10月 文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」の認定
- ▶ 2013年 4月 文部科学大臣より「特色ある共同利用・共同研究拠点」再認定
- ▶ 2014年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける ワークライフバランスと社会の持続可能性に関する総合的研究」
- ▶ 2016年 5月 文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」に採択
- ▶ 2017年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける 家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」
- ▶ 2018年10月 日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム 拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務」に採択
- ▶ 2019年 4月 文部科学大臣より「特色ある共同利用・共同研究拠点」再々認定
- ▶ 2020年 4月 文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業機能強化支援」に採択
- ▶ 2020年 4月 科研基盤(A)「東アジアにおける 健康と社会の持続可能性に関する総合的研究」

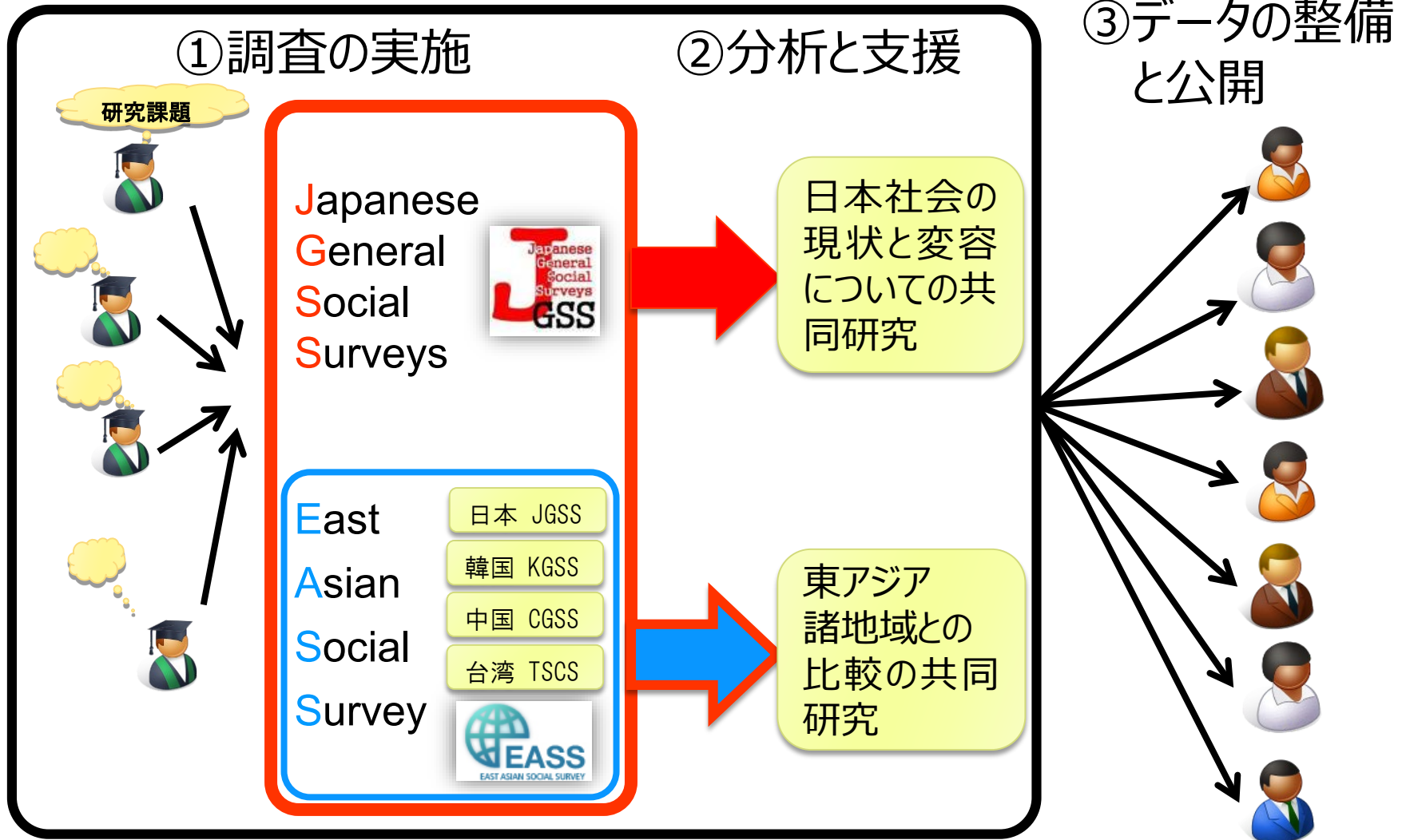
日本版総合的社会調査

(Japanese General Social Survey : JGSS)



- ▶ 公開性・継続性・汎用性を基本理念とした社会調査で、アメリカのシカゴ大学NORCが1972年から継続している総合的社会調査（General Social Survey : GSS）の理念を日本で実現したもの
- ▶ 日本全国の20歳から89歳の方を対象に調査
- ▶ 面接調査票と留置調査票を併用
 - ▶ 面接票：職業、世帯構成、学歴などの基本的属性
 - ▶ 留置票：日常行動、余暇活動、犯罪被害、政治・社会政策に対する考え方、時事問題の賛否など

JGSS 研究センター業務



EASS (East Asian Social Survey)

- 東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問（モジュール）を設定し、国際比較分析を実施、分析データ作成、データ公開。
- 日本（JGSS）・韓国（KGSS）・台湾（TSCS）・中国（CGSS）が参加

- 2003年 JGSS国際シンポジウム2003 を契機にEASSプロジェクト開始
- 2006年 第1回 EASS 2006 : 家族
- 2008年 第2回 EASS 2008 : 文化とグローバル化
- 2010年 第3回 EASS 2010 : 健康と社会
- 2012年 第4回 EASS 2012 : 社会的ネットワークと社会関係資本
- 2015年 第5回 EASS 2014/15 : ワークライフ
- 2017/2018年 第6回 EASS 2016 : 家族
- 2017/2018年 第7回 EASS 2018 : 文化とグローバル化
- 2021年 第8回 EASS 2020 : 健康と社会 (Covid-19含む)

JGSS/EASS実施済・準備中・整備中の調査と公開状況 (1)

調査名	実査年月	有効回収数(率)	テーマ	公開状況
JGSS-2000	2000.10	2,893 (65%)		公開済 (JGSSは、 SSJDA/ICPSR/ GESISから； EASSはEASSDA とICPSRから)
JGSS-2001	2001.10	2,790 (63%)		
JGSS-2002	2002.10	2,953 (62%)		
JGSS-2003	2003.10	A 1,957 (55%); B 1,706 (48%)	ネットワークモジュール	
累積2000-2003	-	12,299		
JGSS-2005	2005.8	2,023 (51%)		
JGSS-2006	2006.10	A 2,124 (60%); B 2,130 (60%)	E06モジュール含	
EASS 2006	2006.10	B 2,130 (60%)	EASS 2006「家族」モジュール	
JGSS-2008	2008.10	A 2,060 (58%); B 2,160 (61%)	E08「文化とグローバル化」モジュール含	
EASS 2008	2008.10	B 2,160 (61%)	E08「文化とグローバル化」モジュール	
JGSS-2009LCS	2009.1	28~42歳; 2,727(51%)	ライフコース	公開済(本拠点)
JGSS-2010	2010.2	A 2,507 (62%); B 2,496 (62%)	E10「健康」モジュール含	公開済
EASS 2010	2010.2	B 2,496 (62%)	EASS 2010「健康」モジュール	
累積2000-2010	-	27,799		特別利用
JGSS-2012	2012.2	A 2,332 (59%); B 2,335 (59%)	E12モジュール含	公開済
EASS 2012	2012.2	B 2,335 (59%)	E12「ネットワーク・社会関係資本」モジュール	

JGSS/EASS実施済・準備中・整備中の調査と公開状況 (2)

調査名	実査年月	有効回収数(率)	テーマ	公開状況
JGSS-2013LCS	2013.2	JGSS-2009LCSの追跡サンプル: 922(86.1%)		公開済(本拠点)
JGSS-2015	2015.2	2,079(52%)	E14/15「仕事と生活」モジュール含	公開済
EASS 14/15	2015.2	2,079(52%)	E14/15「仕事と生活」モジュール	ICPSR寄託 公開済(本拠点)
JGSS-2016	2016.2	25-49歳オーバーサンプル 2100	J15と調査票同一	公開済(本拠点)
JGSS-2017	2017.2	744(55.6%)	EASS 2016「家族」モジュール含	特別利用
JGSS-2017G	2017.11	860(64.0%)	E18「文化とグローバル化」モジュール含	特別利用
JGSS-2018	2018.2	1,916(54.3%)	J17調査票とほぼ同一	特別利用
EASS 2016	17.2/18.2	J17 744(55.6%); J18 1,916(54.3%)	EASS 2016「家族」モジュール	整備中/特別利用
JGSS-2018G	2018.11	678(62.7%)	J17Gと同一	整備中/特別利用
EASS 2018	2017/18.11	J17G 860(64.0%); J18G 678(62.7%)	E18「文化とグローバル化」モジュール	整備中/特別利用
JGSS-2000-2015累積データ				特別利用
JGSS-2000-2018累積データ				特別利用
JGSS-2019LCS	2019.2	JGSS-2013LCSの追跡サンプル: 644(88.1%)	JGSS-2009/2013LCSの追跡	整備中
JGSS-2021	2021.1	A 3,300; B 3,300; 全国440地点	E10「健康」モジュール含/ESS健康含	実査準備中

JGSS単年度データ(12)、補足データ(2)、累積データ(4)、パネルデータ(1)、EASSデータ(7)

JGSSデータセットの利用件数

- SSJDA：JGSSデータの利用件数は**第1位**。
- ICPSR：15,000以上のデータのうち、**常に上位**。

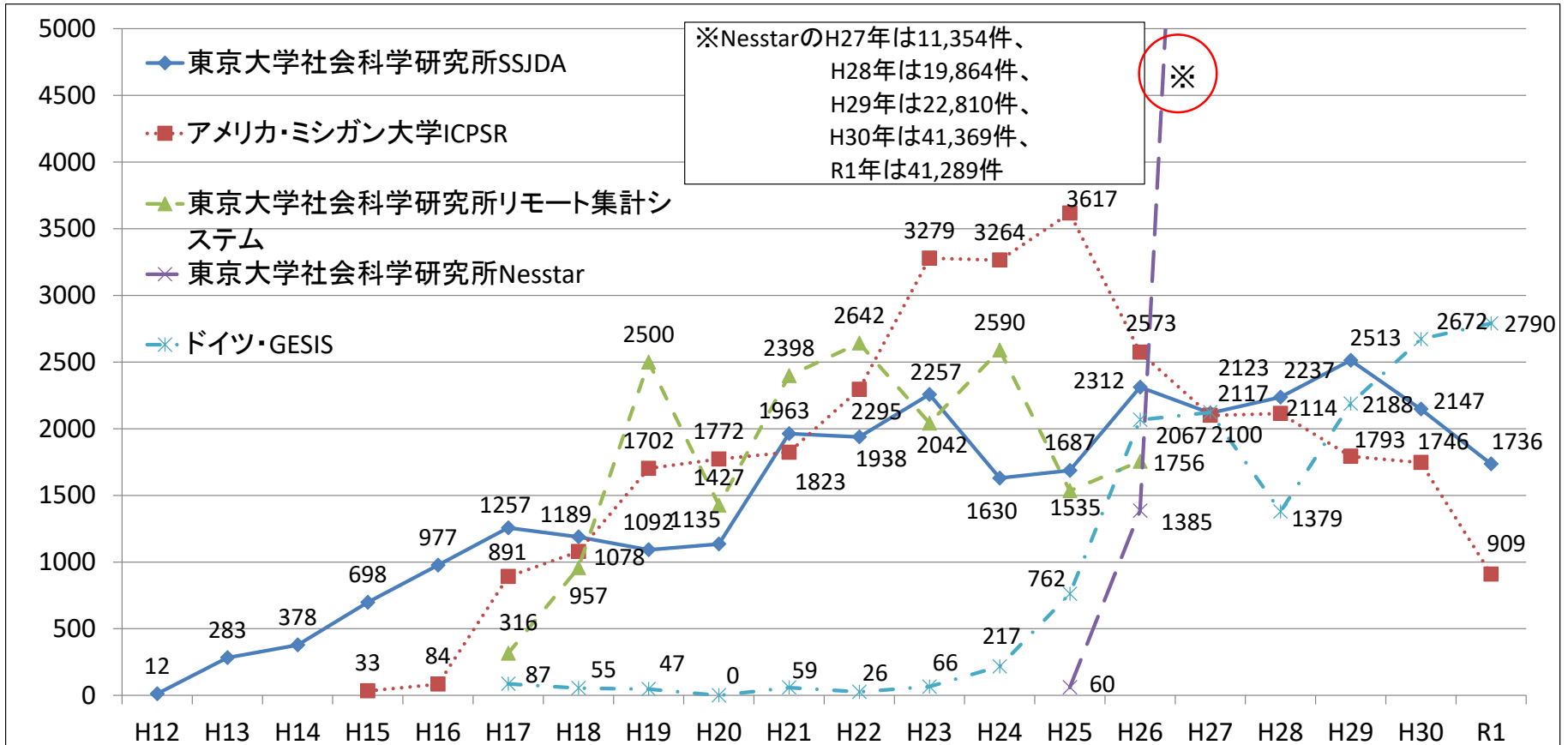


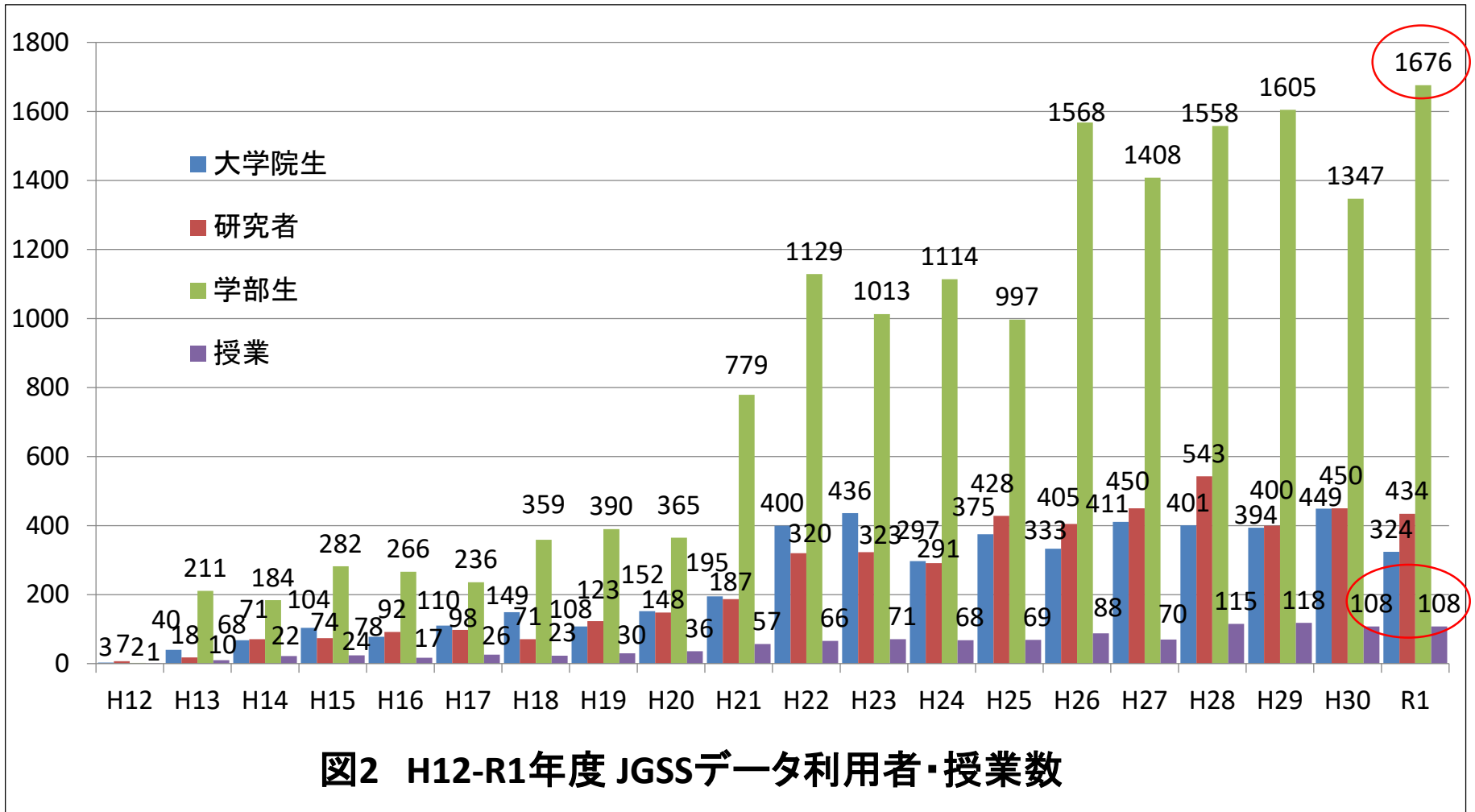
図1 H12-R1年度 JGSSデータセット/調査情報利用件数

注)

東京大学社会科学研究所はH27年7月にリモート集計システムを閉鎖し、Nesstarにリモート集計の機能を集約している。

ICPSRの利用件数には、オンライン分析システムの利用数(H26年の32件、H27年の115件、H28年の93件、H29年の70件、H30年の80件、R1年の79件)が含まれている。

JGSSデータセットの利用者数

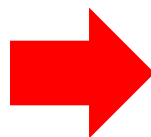


SSJDA/ICPSRを通じたJGSS/EASS データ利用者の所属機関

2013年3月末

- ▶ 大学 322
 - 国内: 202
 - 海外: 120

- ▶ 研究機関 55



2020年3月末

- ▶ 大学 651
 - 国内: 261
 - 海外: 390

- ▶ 研究機関 77

JGSSデータダウンロードシステム概略

- 国立情報学研究所が開発しているWEKO3 による新しいJAIRO Cloud の機能を拡張する形で「JGSS データダウンロードシステム」の構築を進めている。
- **利用申請とダウンロードのシステム**を構築し、申請からデータ入手までのスピードアップを図り、利用を促進する
- 授業での利用に際して、**指導教官**から、
- 都道府県などの情報を利用する際に**保証人（所属長）**から、
承認をえるプロセスもオンラインで
- **成果物報告**と年度末の**利用報告**（終了か次年度継続）

JGSSデータダウンロードシステムの機能（1）

A) アカウント登録・管理

- 利用者は、まず**利用者情報**を記入し、**アカウントを登録**する
 - ※次期JAIRO Cloud（weko3）で導入予定のGakuNin-RDM経由のユーザーログインも可能
 - ※ GakuNin：NIIが主導する学術認証フェデレーション。フェデレーションに参加する学術機関は学内外のサービスを1つのID・PWで利用できる。

B) データごとの利用申請

- 利用者は、**データごとに研究計画**などを作成して利用申請をする
- センターは、利用申請の内容を審査し、**承認／却下／やり直しを判断**する
- 承認された利用者はシステムからデータをダウンロードできる
(利用期間：**許可された年度の3月31日**まで)
- **学部生と院生は、指導教員がアカウントを取得してシステム上で承認**する必要がある
- 回答者の**都道府県情報**を含むデータは、**所属長が保証人**となりアカウントを取得してシステム上で許可する必要がある
- **詳細な地点情報**を含むデータは、**所属長が保証人**となりアカウントを取得してシステム上で許可する必要がある。データはセンターに來所して利用する(**オンサイト利用**)

JGSSデータダウンロードシステムの機能（2）

C) 成果物登録

- 利用者は随時、データを利用した成果物を登録する

D) 利用報告

- 利用者は、**データを利用した年度末に研究の進捗状況を報告**する
- 利用報告の際に、「利用継続」または「利用終了」を選択する
- 利用報告の未実施者は、今後のデータ申請を認めない

E) スタッフ用管理機能

- **利用状況の把握に必要な各種データを出力**する
- データの利用状況は、共同研究拠点の年次報告書に必要

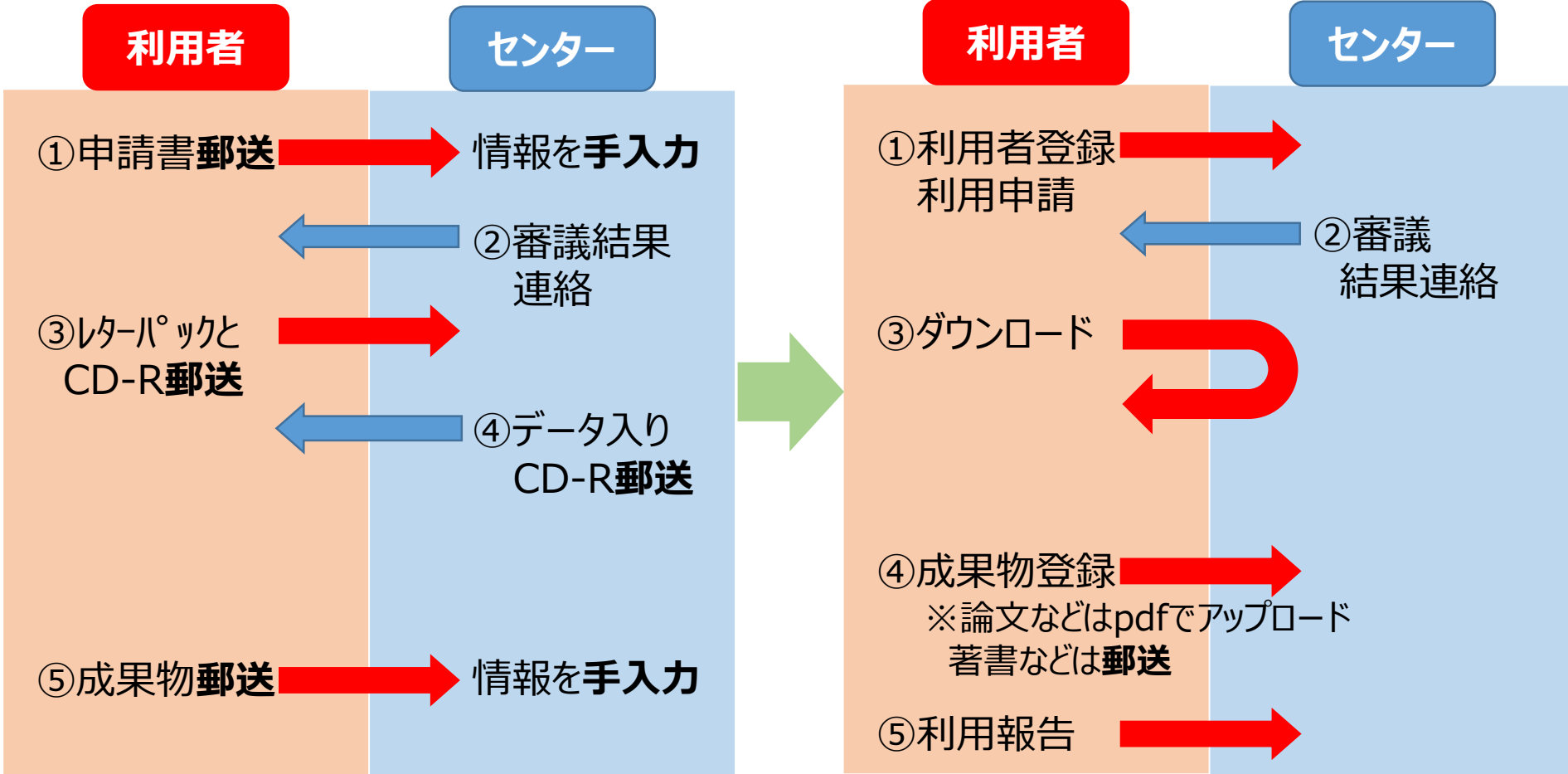
Acknowledgement

- JGSSデータダウンロードシステムの構築にあたって、慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターからアドバイスを頂きました
- 長年JGSSデータを公開して頂いているSSJDAやICPSRのシステムを参考にさせて頂きました

現行運用とシステム導入後の運用イメージ

現在

システム導入後



アカウントの登録画面



アカウントの登録



サインアップ

アカウントをお持ちの方? [ログイン](#)

ログイン画面

大阪科学大学 日本製菓会 社会調査研究センター
大阪商業大学 JGSS 研究センター

ログイン

JGSSデータダウンロードシステムは、大阪商業大学 JGSS研究センターが運営するシステムです。
インターネット上でJGSSデータの利用申請を行うことができ、申請承認後データをダウンロードしてご利用いただくことが出来ます。

ユーザ登録がお済の方は以下よりログインしてください。

メールアドレス

Password

[ログイン](#)

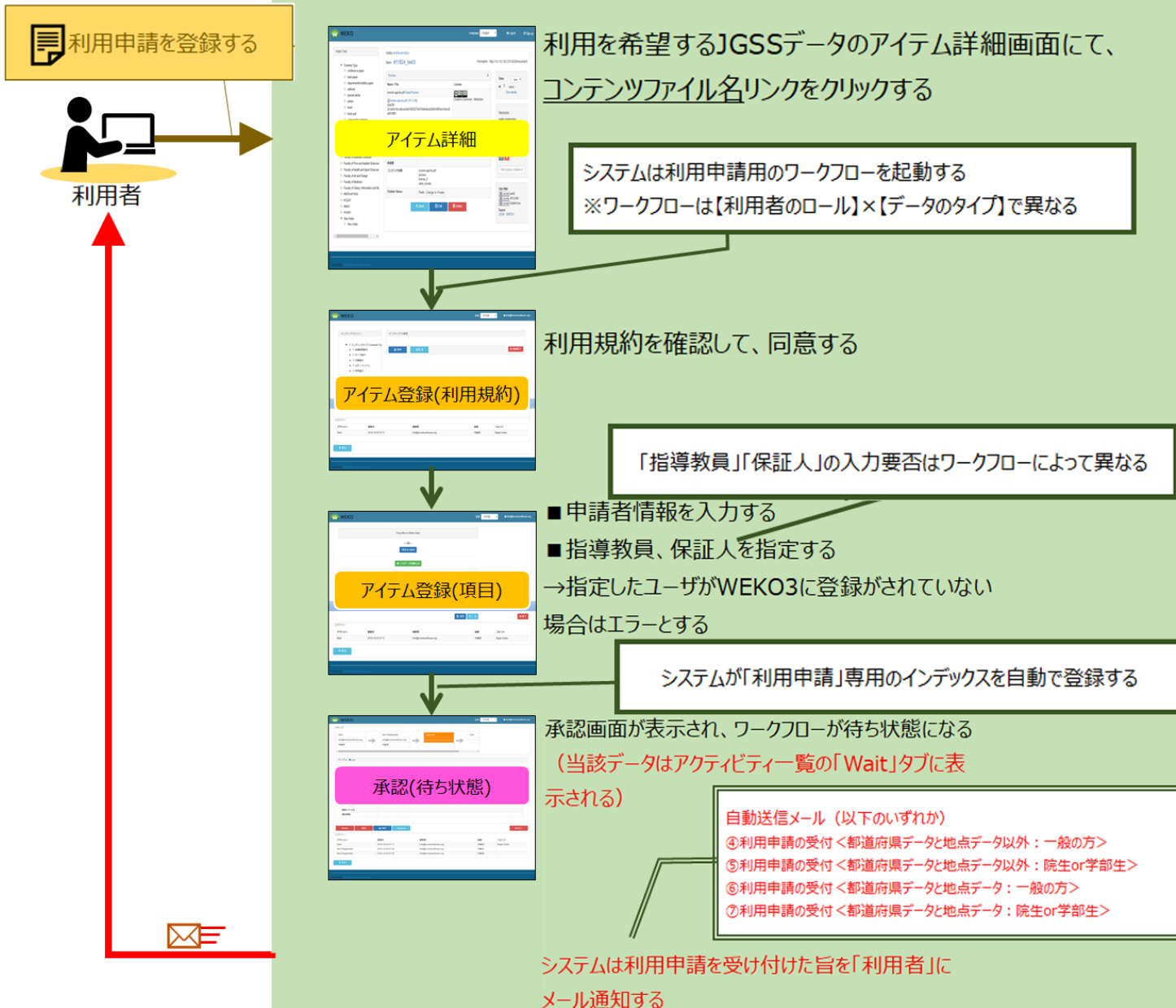
[Shibboleth User](#)

JGSS が初めての方ですか? [サインアップ](#)

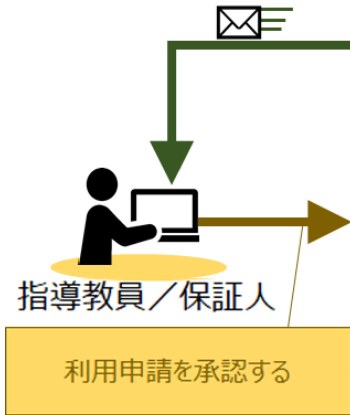
[パスワードをお忘れの方はこちら](#)

- GakuNin-RDM経由のユーザーログインも可能

利用申請の流れ①

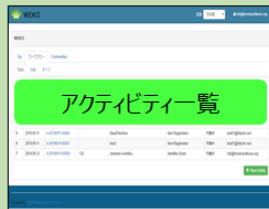


利用申請の流れ②



システムは「指導教員」「保証人」に指定されたユーザーにメール通知する

自動送信メール（以下のいずれか）
 ①-1 利用申請時の指導教員への承認依頼
 ①-2 利用申請時の保証人への承認依頼



■「指導教員」「保証人」に該当するユーザーがログインしている
 →アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



■「指導教員」「保証人」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する

■「管理者」に該当するユーザーがログインしている
 →アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



利用申請を審査する



「管理者」が「Approval」を押下してワークフローが終了した場合、システムは「利用報告」アクティビティを自動で作成する

■「管理者」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する

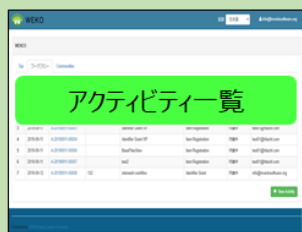


利用申請の流れ③



利用者

アクティビティを確認する



システムは「管理者」の審査が完了した旨を「利用者」にメール通知する

自動送信メール（以下のいずれか）

⑨利用申請の承認<地点データ以外>

⑩利用申請の承認<地点データ>

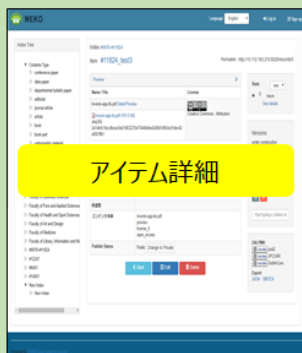
■ 申請した利用者がログインしている

→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用者

JGSSデータをダウンロードする



■ 利用申請が承認された場合、「利用者」はアイテム詳細画面からJGSSデータのダウンロードが可能となる

※地点データは除く

利用申請の詳細 :

① 申請するデータの選択

申請するデータのページを選択

インデックスツリー

- ▼ JGSSデータ
 - ▷ 単年度データ
 - ▷ ライフコースデータ
 - ▷ 都道府県データ
 - ▷ 地点情報データ<来所利用>
 - ▷ EASSデータ

アイテム

JGSSデータ
JGSSデータ / 累積データ

日本版 General Social Surveys

「申請」ボタンをクリック

<input type="checkbox"/>	名前 / ファイル	ライセンス	アクション
<input type="checkbox"/>	2000LCSv1.zip	license.icon Creative Commons 表示 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)	申請 Information

アクセス制限

Jupyter

アイテムタイプ	JGSSデータ登録(1)
公開日	2020-06-03
アイテムタイトル	

バージョン

Ver.1 2020-06-03 03:30:05.000982

Show All versions

0 views
total

詳細を確認

利用申請の詳細：

②利用規約に同意

<
>

利用規約

3. 二次分析の結果を公表する際には、データに同梱されている謝辞（Acknowledgement）をそのまま論文、報告要旨などに明記します（英語・日本語のどちらか一方）。
4. 報告要旨や論文等※を公表した場合、大阪商業大学JGSS研究センターのデータダウンロードシステムから登録します。その際、当該論文等の電子ファイルをアップロードします。著書などで電子ファイルのアップロードが困難な場合、大阪商業大学JGSS研究センターに1部提出します。
5. データを利用している間は、年度ごとに、JGSSデータダウンロードシステムから研究の進捗に関して利用報告を行ないます。その際、データ利用を次年度も継続するか終了するかをシステム上で選択します。
6. 利用期限終了後は、個票データを削除します。
7. その他、データの利用に関して、大阪商業大学JGSS研究センターの指示に従います。
8. 提供された個票データ等の利用により何らかの不利益を被ったとしても、大阪商業大学JGSS研究センターの責任は一切問いません。
9. 利用者の個人情報に関して、以下の事柄について、大阪商業大学JGSS研究センターが各所への情報の掲載・提供を行うことを了承します。
 〈掲載・提供する情報〉氏名、所属、職名、研究会等での写真、研究上の役割、研究題目と概要、JGSS関連文献の書誌情報
 〈掲載・提供先〉JGSS研究センターのホームページ及び編集・刊行物（基礎集計表・コードブック、研究論文集等）、運営委員会が認めた第三者機関（データ・アーカイブ、共同研究拠点の報告書など）
10. 申請者が大学院生（または大学の学部学生）の場合、指導教員の承認が必要です。

※著書や論文、学会の大会報告、授業の実習報告書などの印刷されたものを指します。「論文等」が、印刷物の一部分であり全体の提出が困難な場合、該当する「論文等」を複写したもので可とします。論文等のタイトル、著者名等を、大阪商業大学JGSS研究センターウェブで関連論文として紹介します。

利用規約に同意する

利用規約に同意

利用規約を確認の上、スクロール最下部にある「利用規約に同意する」にチェックを入れてください

次へ >

利用申請の詳細：

③利用申請内容の記入

データ名	
アイテムタイトル	Optional >
登録者の情報	Optional >
利用目的	Optional >
研究題目	Optional v
研究題目	社会階層と転職の関係
研究計画	Optional v
研究計画	社会階層と転職の関係を明らかにする。 父母の社会経済的地位が子供の転職経験にどのような影響を与えるかを分析する。

利用目的（研究／授業）、研究題目、研究計画などを記入して申請
→ 利用者に利用申請受付のお知らせメールが届く

利用申請の詳細： ④管理者の承認

※管理者画面

大学・機関	XXXXX
所属部局・部署	XXXXX
役職	常勤研究員
電話番号	012345678
所属学会	
所属学会名	
所属学会役職	

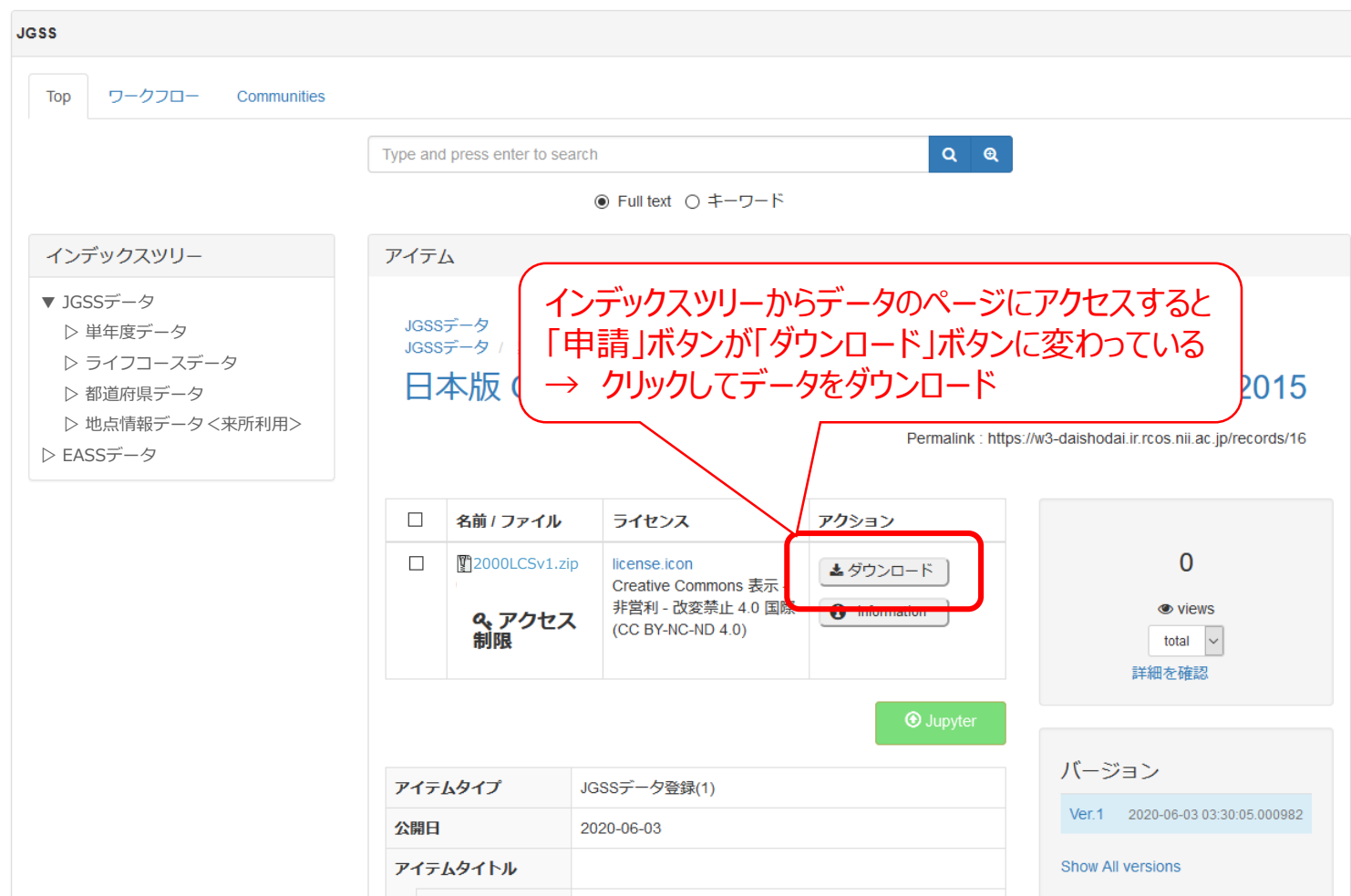
管理者が承認ボタンをクリック
 → 利用者が申請したデータセットをダウンロード可能になる
 → 利用者に利用承認のお知らせメールが届く

やり直し
拒否
保存
承認
終了

- 役職と申請データの種類により、指導教員・保証人の承認が必要な場合もある。

利用申請の詳細：

⑤ データセットのダウンロード



インデックストリー

- ▼ JGSSデータ
 - ▷ 単年度データ
 - ▷ ライフコースデータ
 - ▷ 都道府県データ
 - ▷ 地点情報データ<来所利用>
 - ▷ EASSデータ

アイテム

2015

Permalink : <https://w3-daishodai.ir.icos.nii.ac.jp/records/16>

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
<input type="checkbox"/> 2000LCSv1.zip	license icon Creative Commons 表示 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)	<input type="checkbox"/> ダウンロード <input type="checkbox"/> Information

アクセス制限

Jupyter

アイテムタイプ	JGSSデータ登録(1)
公開日	2020-06-03
アイテムタイトル	

バージョン

Ver.1 2020-06-03 03:30:05.000982

Show All versions

0 views
total
詳細を確認

インデックストリーからデータのページにアクセスすると「申請」ボタンが「ダウンロード」ボタンに変わっている → クリックしてデータをダウンロード

システムに対応するデータと承認者

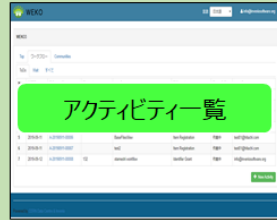
データタイプ		単年度データ			ライフコースデータ			都道府県データ		地点情報		EASSデータ		
		一般	院生	学部生	一般	院生	学部生	一般	院生	一般	院生	一般	院生	学部生
ユーザ種別		一般	院生	学部生	一般	院生	学部生	一般	院生	一般	院生	一般	院生	学部生
指導教員の承認		-	指	指	-	指	指	-	指	-	指	-	指	指
保証人の承認		-	-	-	-	-	-	保	保	保	保	-	-	-
JGSSの承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
申請者	メールアドレス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	氏名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大学・機関	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	所属部局・部署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	役職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	所属学会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指導教員	氏名	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	所属	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	役職	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	メールアドレス	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
	電話番号	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
保証人	氏名	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	所属	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	役職	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	メールアドレス	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
	電話番号	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-
研究題目		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研究計画		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

成果物登録の流れ①

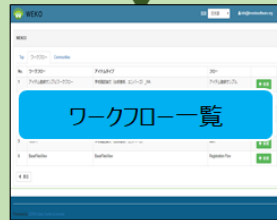
成果物を登録する



利用者



■ アクティビティ一覧の[+New Activity]ボタンを押下する

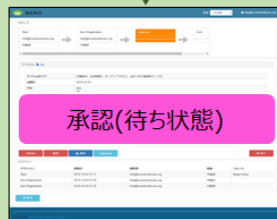


■ 成果物登録用ワークフローの[+New]ボタンを押下する



■ 成果物の現物をコンテンツファイルとして登録する
■ 成果物のタイトル、利用したJGSSデータ、公開の是非等、必要項目を入力する

システムが「成果物」専用のインデックスを自動で登録する



承認画面が表示され、ワークフローが待ち状態になる
(当該データはアクティビティ一覧の「Wait」タブに表示される)

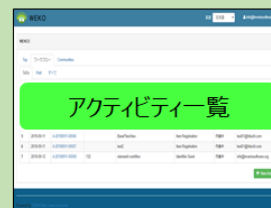
メールは固定文を自動送信する

成果物登録を受付けた旨を「利用者」にメール通知する



成果物登録の流れ②

■「管理者」に該当するユーザがログインしている
→アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



■「管理者」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する



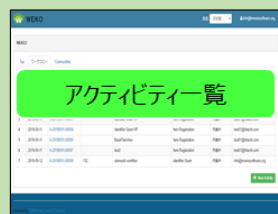
成果物を確認する



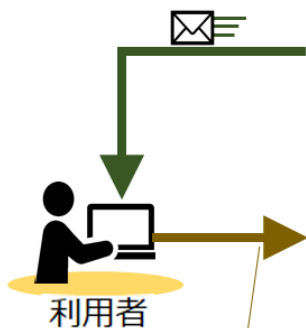
JGSSセンター

「管理者」の審査が完了した旨を「利用者」にメール通知する

メールは固定文を自動送信する



■申請した利用者がログインしている
→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用者

ワークフローを確認する

成果物登録の詳細：

①ワークフローで「+New Activity」を選択

文部科学大臣認定 日本国総合的社会調査共同研究拠点
 大阪商業大学 JGSS 研究センター

言語: 日本語

kaku@daishodai.ac.jp

JGSS

[Top](#) [ワークフロー](#) [Communities](#)

[ToDo](#) [Wait](#) [すべて](#)

No.	更新日	申請日	承認日	アクティビティ	アイテム	ワークフロー	アク
1	2020-10-19			A-20201019-00010	A-20191019-JGSS-2013LCS-利用報告-jgssuser	利用報告	Item Application

「+New Activity」ボタンをクリック

+ New Activity

Powered by [CERN Data Centre & Invenio](#)

成果物登録の詳細： ②成果物登録の「+新規」を選択


大阪科学大付属 日本経済社会調査センター
 大阪商業大学 JGSS 研究センター

 言語: 日本語 ▼
 kaku@daishodai.ac.jp ▼

JGSS

[Top](#)
[ワークフロー](#)
[Communities](#)

No.	ワークフロー	アイテムタイプ	フロー	
1	成果物登録	成果物登録	管理者での承認	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #4CAF50; color: white;">+ 新規</div>

[← 戻る](#)

「成果物登録」の「+新規」ボタンをクリック

成果物登録の詳細： ③成果物のアップロード

Drop files or folders here

— OR —

Click to select

1 files

Filename	Size	Progress	Actions
JGSS2013lcsの成果物.pdf	121 Kb	✓	X

Start upload

コンテンツファイル Optional

表示名

表示形式

ライセンス

剽窃チェック

アクセス

- オープンアクセス
- オープンアクセス日を指定する
- ログインユーザのみ
- 公開しない

クリックして「成果物」（pdfファイルなど）をアップロード

成果物のライセンスを指定

成果物登録の詳細： ④成果物情報の記入

対応する利用申請のID	Optional	>
著者名	Optional	>
タイトル	Optional	▼
タイトル	<input type="text" value="JGSS2013の成果物"/>	
言語	<input type="text" value="ja"/>	
成果物のタイプ	Optional	▼
成果物のタイプ	<input type="checkbox"/> 図書 <input checked="" type="checkbox"/> 論文（査読有り） <input type="checkbox"/> 論文（査読無し） <input type="checkbox"/> 学会報告（国際学会または国際学会） <input type="checkbox"/> 学会報告（国内学会） <input type="checkbox"/> その他	
公表媒体名	Optional	>
公表URL（DOI）	Optional	>
公表年月日	Optional	>
要約	Optional	>
分類	Optional	>

対応する利用申請ID、成果物の書誌情報、分野などを入力

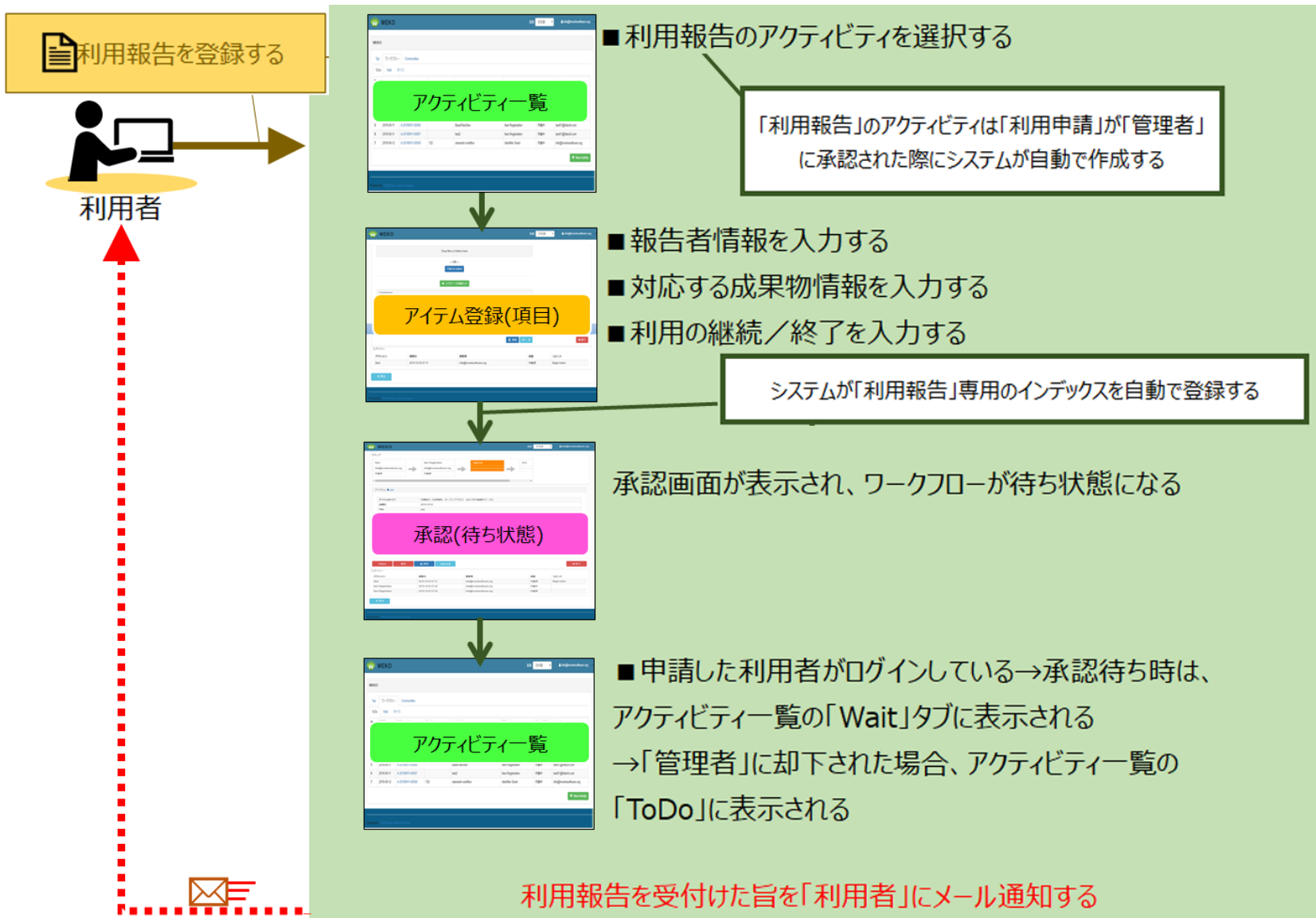
「次へ」をクリックして、成果物を提出
 → 成果物登録受付のお知らせメールが届く
 → 管理者承認後、成果物登録承認のお知らせメールが届く

保存

次へ >

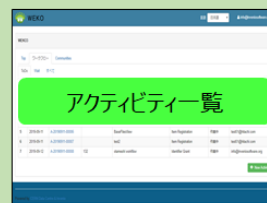
終了

利用報告の流れ①



利用報告の流れ②

■「管理者」に該当するユーザがログインしている
→アクティビティ一覧の「ToDo」タブに表示される



■「管理者」は、承認画面で「Return」「Reject」「Approval」いずれかのボタンを押下する



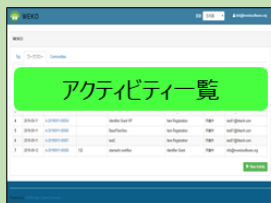
【利用報告の運用案】

利用「継続」の場合→「Return」を押下してワークフローを利用者のアクションに戻す
利用「終了」の場合→「Approval」を押下してワークフローを終了する

「管理者」の審査が完了した旨を利用者にメール通知する

メールは固定文を自動送信する

■申請した利用者がログインしている
→「管理者」に承認された場合、ワークフローは終了し、
アクティビティ一覧の「ALL」にのみ表示される



利用報告を確認する



JGSSセンター



利用者

ワークフローを確認する

利用報告の詳細：

①ワークフローから利用報告のアイテムを選択

文部科学大臣認定 日本学術会議の社会調査共同研究拠点
 大阪商業大学 JGSS 研究センター

言語: 日本語

kaku@daishodai.ac.jp

JGSS

Top
ワークフロー

ToDo
Wait
すべて

ワークフロー画面で利用報告のアイテムをクリックする
※利用報告アイテムは、データダウンロード時に自動で生成される

No.	更新日	申請日	承認日	アクティビティ	アイテム	ワークフロー	アクション	ステータス	ユーザー
1	2020-10-19			A-20201019-00010	A-20191019-JGSS-2013LCS-利用報告-jgssuser	利用報告	Item Registration for Usage Application	作業中	..

+ New Activity

利用報告の詳細：

②利用報告の内容を記入

年次報告
Optional ▼

年次報告

データの分析を行い、日本社会学会で「親の階層が子供の転職経験に与える影響」というタイトルで報告をしました。現在、分析結果をもとに論文の執筆をしており、続けてデータの利用が必要です。

▲
▼
⋮

終了／継続
Required ▼

終了／継続* 終了
 継続

対応する成果物のID
Optional ▼

対応する成果物のID

A-20200617-00008

×
▼

+ New

- 「年次報告」、「終了／継続」、「対応する成果物のID」欄を記入して報告
- 利用報告受付のお知らせメールが届く
 - 管理者の承認後、利用報告の承認メールが届く

システム利用状況の把握（管理者機能）

※利用申請情報のエクスポートの例

	A	B	C	D	E	
1	Column1	Column2	Column3	Column4	Column5	Column6
2	#ItemType	ライフ利用申請(5002)	https://w3-daishodai.ir.rcos			
3	#.id	.uri	.metadata.path[0]	.metadata.pubdate	.metadata.item_1579070379758.subitem_dataset_usage	.metadata.item
4	#ID	URI	.IndexID#1	公開日	Dataset Usage.Dataset Usage	Item Title#1.It
5	2	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-01	JGSS-2009LCS	利用申請 - jgs
6	8	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-01		利用申請 - jgs
7	23	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-08	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - ge
8	35	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-08	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2013 ライフコース調	利用申請 - jgs
9	50	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-08	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2013 ライフコース調	利用申請 - ba
10	58	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-11	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - ka
11	63	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-11		利用申請 - ba
12	92	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-16		利用申請 - JG
13	106	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-17	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - Yc
14	121	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-19		利用申請 -
15	122	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-19	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - ge
16	127	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-19	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2013 ライフコース調	利用申請 - ba
17	150	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-22	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - gn
18	151	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-22	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - gn
19	169	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-24	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2013 ライフコース調	利用申請 - G1
20	203	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-29	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2013 ライフコース調	利用申請 - gn
21	223	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-29	1000MB以上のファイルのテスト	利用申請 - gn
22	227	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-06-29		利用申請 - ki
23	246	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-10-12	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 -
24	247	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-10-12	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 -
25	281	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-10-14	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - ki
26	284	https://w3-daishodai.ir.rcos.nii.1578473725554		2020-10-14	日本版 General Social Surveys (JGSS) 2009 ライフコース調	利用申請 - sz

- システムの利用状況の情報（利用申請、成果物報告、利用報告の詳細情報）をダウンロードしてエクセルで管理・集計できる

システムに対応するデータ

- ① JGSS単年度データ： JGSS-2015, JGSS-2016,
JGSS-2017/2018統合データ、
JGSS-2017G/2018G統合データ
- ② JGSSライフコース調査データ
 - JGSS-2009LCS, JGSS-2013LCSwave2
 - 28歳以上42歳以下を対象に実施したパネル調査
- ③ JGSS地域ブロックと都道府県データ
 - 回答者の居住地に関する変数のみのデータ
- ④ JGSS地点情報データ
 - 詳細な抽出地点の情報のデータ
 - システムでは申請受付のみで、来所利用
- ⑤ EASSデータ： EASS 2006, EASS 2008, EASS 2010
EASS 2012, EASS 2014/2015, EASS 2016

ダウンロードシステム構築の進展と今後の予定

2019年	5~7月	他の拠点へのヒヤリングを重ねてシステムをデザイン
	9月~	システムを構築する日立製作所とNIIと確認・構築
2020年	1月	日立製作所から発注したシステムが納入
	5~8月	本拠点がNIIの構築した実験環境でシステムをテスト
	11月~	日立製作所にシステム修正の発注
2021年	1月末	日立製作所から修正システムの納品
	2月	NIIが実験環境下で修正システムをテスト
	3月	本拠点が実験環境下で修正システムをテスト
	4月	JGSSデータダウンロードシステムが稼働